

# 第177回電波利用懇話会 「衛星通信と5G/Beyond 5Gの連携について」

## ご 案 内

一般社団法人電波産業会

第5世代移動通信システム(5G)によるサービスが日本でもいよいよ開始されました。5Gは、その「超高速・大容量」、「超低遅延」、「多数接続」といった特徴から様々な産業で利用され、社会に革新をもたらすものと期待されています。

一方、衛星通信は、従来から広域性やマルチキャスト/ブロードキャストの特徴を生かしたサービス、災害時の緊急通信などで威力を発揮してきており、さらに近年ではハイスループット衛星と呼ばれる大容量通信衛星やメガコンステレーションと呼ばれる多数の低軌道衛星を利用した衛星通信システムなど衛星の通信容量の大容量化、回線制御の柔軟性の向上、通信コストの低減が図られ、衛星サービスの向上に期待が高まっています。

このような状況のもと 5G における衛星通信の役割が注目され、欧州では官民共同のプロジェクトが活発に活動し、3GPP における 5G の標準化でも衛星との接続が検討されています。

国立研究開発法人情報通信研究機構では、2019年8月より「衛星通信と5G/Beyond 5Gの連携に関する検討会」を開催し、衛星通信と5Gを連携させることによる有効なユースケース、必要な技術課題と実現方法、評価とデモンストレーション、標準化、将来のBeyond 5Gにおける衛星通信への要求等について検討してきており、2020年2月に報告書がとりまとめられました。また、最近では2020年7月に設立された「スペースICT推進フォーラム」の分科会である「5G/Beyond 5G連携技術分科会」において、継続して衛星通信と5G/Beyond 5Gの連携に関する取り組みが行われています。

今回の電波利用懇話会では、国立研究開発法人 情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク総合研究センター 宇宙通信研究室 主任研究員 三浦 周 様をお迎えして、検討会報告書の内容やフォーラムの活動概要を解説いただきます。

会員の皆様には、是非ともご参加下さいますようにご案内申し上げます。

## 記

- 1 日 時 : 2021年2月18日(木) 午後2時から3時
- 2 場 所 : オンラインセミナー
- 3 題 名 : 衛星通信と5G/Beyond 5Gの連携について
- 4 講 師 : 国立研究開発法人 情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク総合研究センター  
宇宙通信研究室 主任研究員 三浦 周 様
- 5 参 加 者 : 180名程度(定員になり次第締め切らせていただきます。)  
ARIB正会員、賛助会員のみ申し込みできます。
- 6 申 込 先 : 当会ホームページの講演会等開催案内よりお申込ください。  
(<https://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>)
- 7 参 加 費 : 無料
- 8 問 合 せ 先 : 企画国際部 電波利用懇話会事務局 岡部 まで

TEL: 03-5510-8592 E-mail: [arib-seminar2020@arib.or.jp](mailto:arib-seminar2020@arib.or.jp)

以上